

## ～昭和47年7月水害から40年～

### 斐伊川流域の治水を考える集い(尾原ダム)を開催します。

本年は、斐伊川流域を襲った昭和47年7月水害から40年目の年であり、改めて斐伊川流域の治水について考えることを目的として、出雲河川事務所では斐伊川流域で「集い」や「パネル展」を実施する予定としています。その第1弾として、～昭和47年7月水害から40年～「斐伊川流域の治水を考える集い(尾原ダム)」を以下のとおり開催いたします。

(と き) 平成24年5月20日(日) 9:00～15:30

※ プレイベントとして、5月18日・19日(10:00～15:00)に地元関係者の方々を対象とした「さくらおろち湖湖面の監視体験」(堀川遊覧)を行ないます

(ところ) 尾原ダム・さくらおろち湖及びその周辺 ※駐車場は別紙-2を参考にして下さい

(主 催) 国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

(共 催) 島根県、雲南市、奥出雲町、松江市

(内 容) ①昭和47年7月水害等のパネル展示

※無料 ②堤体見学会[ダムの直下流等からダムを見ることができるツアー] ※詳細は別紙-1

③さくらおろち湖湖面の監視体験[受付は終了しました]

④降雨体験など(降雨体験装置で時間雨量100mmの豪雨を体験。河川パトロールカー等展示)

⑤ステージイベント

⑥食べ物・特産品コーナー

※小雨決行 但し、大雨警報等発令された場合は中止することがあります。 ※詳細は別紙-1

#### 【問合せ先】

～昭和47年7月水害から40年～斐伊川流域の治水を考える集い(尾原ダム)実行委員会

(出雲河川事務所、島根県、雲南市、奥出雲町)

国土交通省中国地方建設局出雲河川事務所 電話 0853-21-1850(代表)

(技術)副所長: ただかかずお 玉田一雄

尾原ダム管理支所 電話 0854-48-0780(代表)

管理支所長: いまおかとしかず 今岡俊和



忘れてはならない教訓 次代に引き継ごう

～ 2012年は昭和47年7月水害から40年～

# ～昭和47年7月水害から40年～ 斐伊川流域の治水を考える集い(尾原ダム)

## 実施概要

●日時 平成24年5月20日(日) 9:00～15:30 (小雨決行)

※大雨警報等が発令され、実施が困難と実行委員会が判断した場合には5月20日(日)7:00頃迄に中止のお知らせを下記にて行う予定です。

詳細は、尾原ダム管理支所HP

([http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/obara\\_index.html](http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/obara_index.html))

又は、尾原ダム管理支所(0854-48-0780)へお問い合わせください。

●場所 メイン会場：さくらおろち湖ボート競技施設駐車場  
ダム見学会・パネル展示：尾原ダム管理支所

### ●スケジュール(予定)

9:00～ ○開会 挨拶(国土交通省出雲河川事務所長、島根県土木部次長、雲南市長、奥出雲町長、松江市副市長(予定))

○来賓紹介

○斐伊川上下流の愛好家によるハーモニカ演奏

・くにびきハーモニカ愛好会(松江市)

・尾原ハーモニカクラブ(雲南市)

9:50～ ○遊覧船出発式

10:00～ ○遊覧船 出発 ※堀川遊覧船3艘での湖面監視体験

・第1船 一般公募した方々

・第2船 国土交通省出雲河川事務所長、島根県土木部次長、雲南市長、奥出雲町長、松江市副市長 他 乗船(予定)

・第3船以降 一般公募した方々

○尾原ダム見学会

[ダムの直下流等からダムを見ることができるツアー]

10時～15時に約30分間隔で出発。所要時間約50分

※当日尾原ダム管理支所で随時受付

詳しくは尾原ダムHPをご覧ください。

[http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/obara\\_index.htm](http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/obara_index.htm)

○パネル展示

[昭和47年7月水害等のパネル展示]

○尾原ダムで採用した新技術の紹介など

[連続サイフォン式取水設備の模型の実演予定 別紙－3]

○降雨体験

〔時間雨量100mmの豪雨を体験可能〕

○災害対策用車両の展示

〔河川パトロールカー、照明車、排水ポンプ車の展示〕

11:00～ ○ステージイベント等

・ステージイベント

ムラゲレンジャー

奥出雲神代神楽

白築 純／熱田 修二 生LIVE

仁多乃炎太鼓

○食べもの・特産品コーナー

・まめなカー市

・地元産品販売

14:00 ステージイベント等 終了

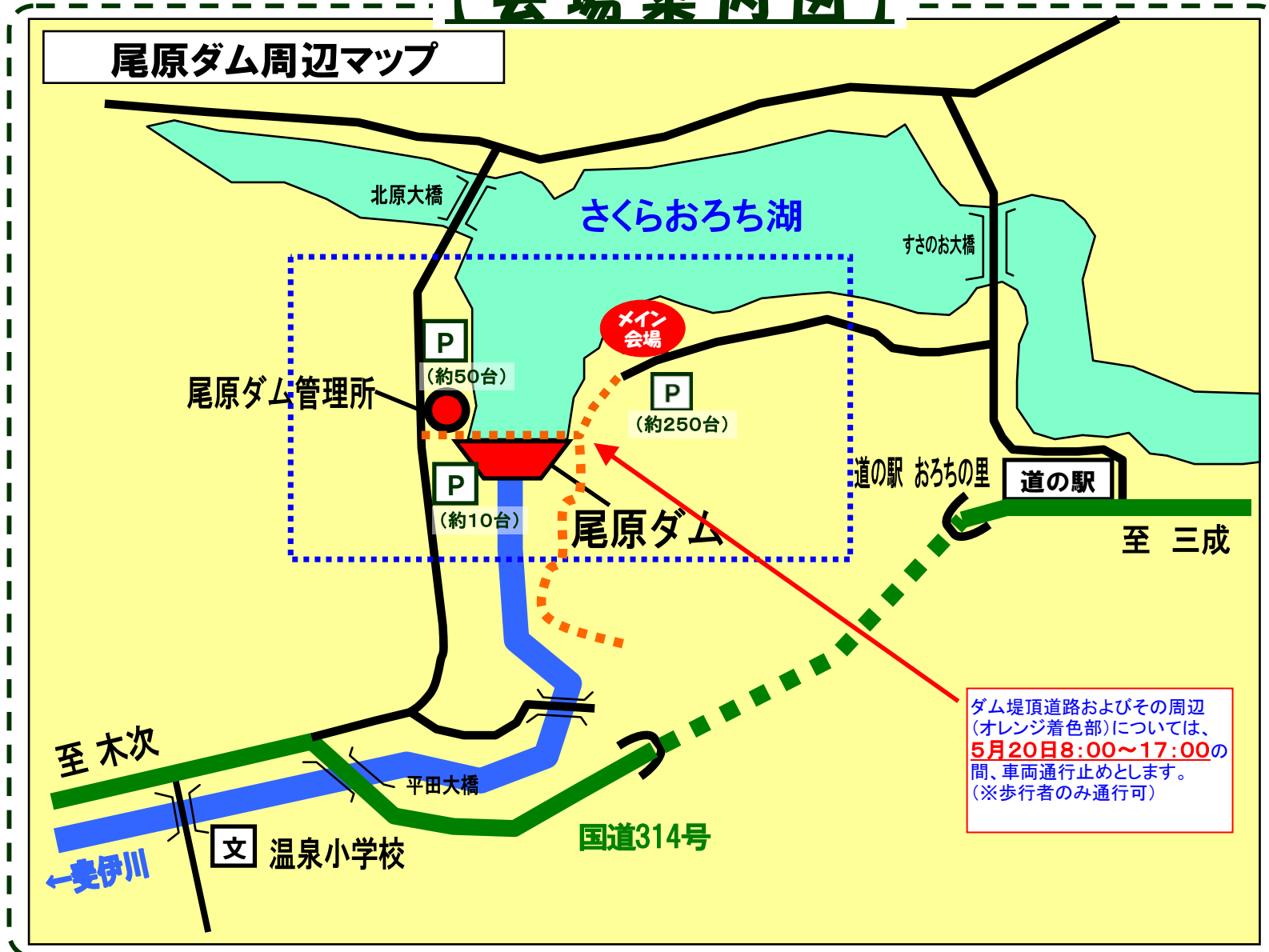
15:00 遊覧船 終了

15:30 ダム見学会、パネル展示等 終了

～昭和47年7月水害から40年～

# 斐伊川流域の治水を考える集い(尾原ダム)

## 【会場案内図】



世界初!!!

# 連続サイフォン式取水設備

(れんぞくさいふんしきしゅすいせつび)

斐伊川や神戸川の周りに住む人達を洪水から守るために建設される尾原ダム(おぼらだむ)と志津見ダム(しづみだむ)では、連続サイフォン式取水設備というものを造っています。



連続サイフォン式取水設備は、空気をつかって水を止める新しいタイプの**選択取水設備(せんたくしゅすいせつび)**です。

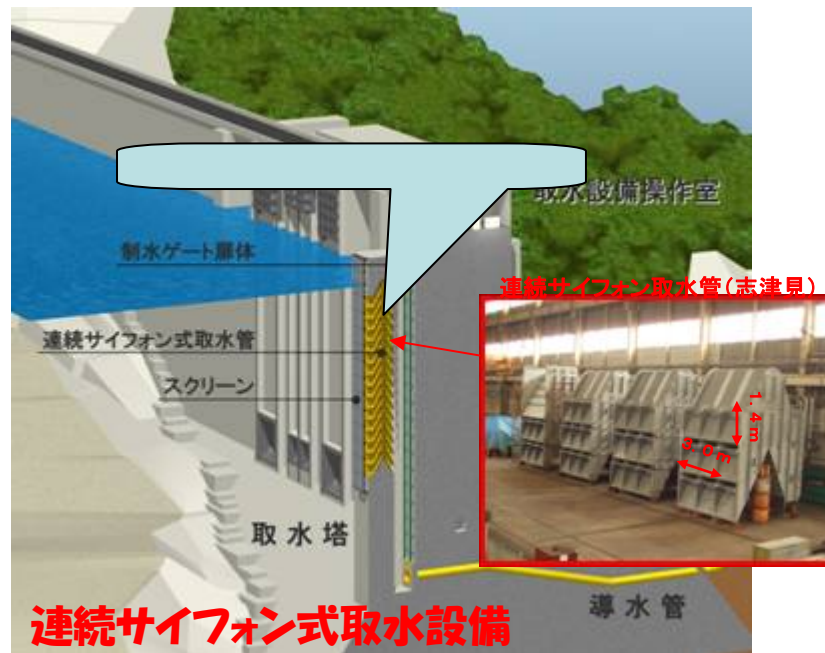
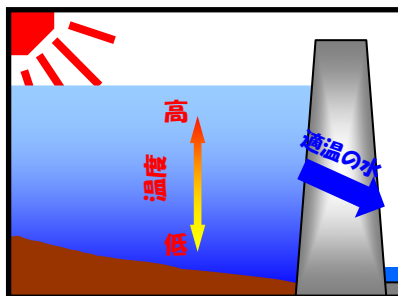
今までの**選択取水設備**では一般的に鉄の扉とその開閉装置をつかって水を止めていましたが、その代わりに空気を使うことで必要な鋼材や装置を少なくすることができます。



今までの**選択取水設備**の例

## 選択取水設備

ダムから流す水の温度が低すぎたり高すぎたりすると、下流の魚や農作物などに悪い影響がでます。それを防ぐ為に、ダム湖から水が流れる高さを選ぶことで水温を調節する設備を**選択取水設備**と言います。

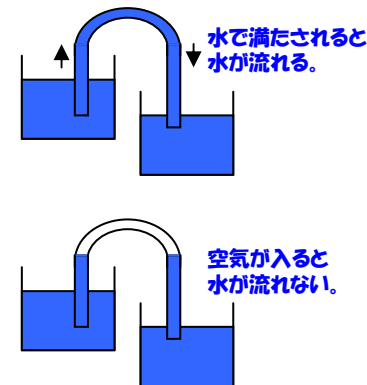


## 連続サイフォン式取水設備

上の図のように、V字をひっくりかえした形の管を縦に続けて組む取水設備をつくるのは、**世界中でここが初めて**です。

## サイフォンの原理

2つの水面をつなぐパイプ内を水で満たすと、その経路が水面より高くても水が流れつづける現象をサイフォンの原理と言います。逆にこのパイプに空気を入れると水が流れなくなります。



国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所 尾原ダム管理支所  
〒699-1342 鳥根県雲南市木次町平田211-5  
TEL 0854-48-0780